未来へつなぐまちづくりのために

平成22年１月１日、内子町は町政５周年を迎えました。

17年に行われた旧内子町・五十崎町・小田町の合併によって、まちづくりの胎動は大きな産声を上げ、新たな内子町が誕生しました。そして今、共に「町並み、村並み、山並みが美しい持続的に発展するまち」を目指す一体感が生まれ始めたと感じています。

現在、日本は大きな転換期を向かえています。一昨年のリーマンショックに端を発した世界同時不況、昨年のドバイショック、金融危機、そして政権交代など、先行きは不透明な状況です。

しかし、わたしたちの先人はこの内子町を最適な場所として、自然と語らい、時には怒りに触れ、時には恵みを受けながら、その時代時代を懸命に生きてきました。現代においても、町民の皆様はそれぞれの地域で生き生きと輝きながら、先人から受け継いだかけがえのない伝統や文化を守り育て、真の豊かさを願い求めて暮らしを営んでいます。

そのような「今」の内子町を生きる人々の輝きを未来へ語り伝えるために、この『内子町勢要覧』を作成しました。

内子町が内子町らしく、誇りと品格ある郷土として、将来にわたり発展し続けるために、新しい風を起こし、今ある町の財産を一層輝かせながら、「住んでよし、訪ねてよし、美（うま）し内子」の実現に向けて町民の皆様と一緒に歩んでまいります。

内子町長　稲本　隆壽（たかとし）